

今週の News

1. 25周年記念事業 実施に関するお知らせ
2. 認定NPO 寄付のお願い
3. 大船渡市越喜来地区支援 被災10年後の姿
4. 全まち2020-2021 石巻で震災10年を振り返る

「JSURP Newsβ版」の試み

JSURP の多様な活動の「予告・案内」と「結果」を迅速に会員相互で共有することを目的として JSURP Newsβ版を試行します。月2回発行予定
編集：渡会、中川、千葉、小谷

■JSURP25周年記念事業 実施に関するお知らせ

25周年記念事業が今週土曜日(12月5日)に開催されますが、内容、開催方法については新型コロナ(COVID-19)の感染動向を考慮し、いくつかの変更及び変更の可能性が生じています。

◆12月1日時点で確定していること

・新型コロナ(COVID-19)の感染状況に関わらず、オンライン配信で13時開始、16時半終了予定で実施します。全ての視聴はオンラインでお願いします。会場(丸ビルホール)は完全無観客とします。

◆今後の動向に応じて12月3日に選択し確定すること

- ・プランA：感染状況がやや落ち着く傾向にある場合：当初プログラムでの実施とします(講演者の一部はリモート参加もあります)。
- ・プランB：感染状況がさらに悪化傾向の場合：講演者の方々も完全リモートで実施します。プログラムを一部変更し、第2部をカットして第1部と第3部のみの実施とします

◆視聴申し込みがまだの方はぜひこちらから申し込みください

<https://jsurrp25th.peatix.com>



認定特定非営利活動法人 日本都市計画画家協会 25周年記念事業講演・シンポジウム

JSURP 25

2020.12.5 Sat 13:00~16:30
オンライン配信/丸ビルホール(人数限定)

第1部 13:00~13:30
記念講演「JSURP 設立の想いと今後への期待」
講演 伊藤 滋 (JSURP 創設者、東京大学名誉教授、慶應義塾大学名誉教授)

第2部 13:30~14:30
セッション「JSURP のこれまでと今後の展望」
モデレータ：柳沢厚 (JSURP 元理事)
登壇者：鳥居智夫 (元副会長)、小澤一郎 (元理事)、
笹原亮 (オピニオンリーダー/元副会長)、
石川岳男 (元副会長/ISD)、
内山征 (理事/メルメック VP)
総 括：小林英樹 (会長)、伊藤 滋

第3部 14:50~16:30
25周年記念セッション「これからの社会と都市」
キーノートスピーチ 安宅 和人
(慶應義塾大学環境情報学部教授/ヤフー(株) CSO)
モデレータ：加藤孝明 (JSURP 理事/東京大学生産技術研究所)
ゲスト：安宅和人
登壇者：小泉秀樹 (東京大学)、鈴木俊治 (ハーツ環境デザイン/芝浦工業大学)、
JSURP 賛成 (キャセンド大船渡)、長谷川隆三 (フロントヤード)、高橋剛 (都市環境研究所/副会長)

1993年に設立された日本都市計画画家協会の25周年を記念し、これまでの四半世紀について切實に現在の会員を交え各テーマの取り組みを振り返るとともに、今後の進路も話し、今後の都市と社会のあり方や都市プランナーが果たすべき役割について展望します。

お申込 (オンライン参加)
一般 ¥1,000
会員・学生 ¥500

お問い合わせ：JSURP 事務局
jsurrp@jsurrp.jp (03-6811-7205)

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻、4年間の勤務後、インフォコム情報システムズ株式に入社。2001年までシステムエンジニアとして勤務。2002年、建築設計事務所「アトリエ」を設立。2005年、建築設計事務所「アトリエ」を設立。2008年、建築設計事務所「アトリエ」を設立。2011年、建築設計事務所「アトリエ」を設立。2014年、建築設計事務所「アトリエ」を設立。2017年、建築設計事務所「アトリエ」を設立。2020年、建築設計事務所「アトリエ」を設立。

主催：認定特定非営利活動法人 日本都市計画画家協会 特別協力：三井物産株式会社
協賛：日本都市計画画家協会 / 株式会社日本設計 / 株式会社日本設計 / 株式会社 URB LIN
ケージ / 三井不動産株式会社 / 東急不動産株式会社 / パシフィックコンサルタンツ株式会社 / 野村不動産株式会社 / 株式会社エンクス
新井建設 / 株式会社日建設計 / 株式会社大林組 (組不成、2020.01.09 時点)

■認定NPO 寄付のお願い

JSURP では震災・災害復興の支援や、地域におけるまちづくり活動の支援を積極的に行うための資金確保が喫緊の課題となっています。

JSURP は2014年に認定特定非営利活動法人(認定NPO法人制度)として認定されました。認定NPO法人制度は、NPO法人への寄付を促すことにより、NPO法人の活動を支援するために税制上の優遇措置として設けられた制度です。

◆パブリックサポートテスト

認定NPOを維持していく際の主要な要件として「パブリックサポートテスト(PST)」があります。PSTとして3つの基準があり、その中に「各事業年度中の寄附金の額の総額が3,000円以上である寄附者の数が、年平均100人以上であること」があります。つまり毎年平均して100人以上の方から寄付を集める必要があります。

日本都市計画画家協会の活動への支援をお願い致します。

◆認定NPO 寄付 税制上の優遇措置

①個人が寄附した場合

所得控除又は税額控除のいずれかを選択適用できます。また、個人住民税(地方税)の計算において、寄附金税額控除が適用されます。

概ね寄附金額の最大約50%が控除(還付)されます。

②法人が寄附した場合

一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特定公益増進法人に対する寄附金の額と合わせて、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

③相続人等が相続財産等を寄附した場合

寄附をした財産の価額は相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。

◆寄付サイト

JSURPでは、協会活動を紹介しつつ支援を募る寄付サイトを設け、活動主旨にご賛同いただいた方へ寄付のお願いをしています。ぜひご支援をお願いします。

<https://congrant.com/project/JSURP/2265>

■大船渡市越喜来地区支援 被災 10 年後の姿

JSURP では 2013 年から東日本大震災で被災した大船渡市越喜来地区の復興まちづくりの支援を始め、今年度で足かけ 8 年にわたって継続的に現地支援を続けている。越喜来地区では、浦浜泊地区、甫嶺地区にそれぞれまちづくり委員会を組織し、被災した低地の活用やコミュニティ再生、地域運営組織づくりといった活動を進めている。

その一環で 11 月 21～23 日の間、越喜来地区の二つのまちづくり委員会に参加した。新型コロナの影響もあって今年度初めての現地訪問であった。

21 日は甫嶺地区でのまちづくり委員会へ参加し、今後の活動について協議を行った。甫嶺地区では、共同農園での蕎麦づくり、観光ルートの開発、河川的环境整備等を進めてきた。この度、廃校になった小学校を活用し、校庭に BMX の事業者を誘致し、開業に至っている。小学校の校舎については、三陸アクティブというまちづくり会社を設立し、2020 年 10 月に貸しスペース事業を開業した。今後、ドミトリーの運営、観光ツアーの提供を行っていく。

22 日は浦浜泊地区まちづくり委員会に参加し、まちあるきを行い地区内の名所を巡った。浦浜泊地区では、地域運営組織の浦浜泊地区連絡協議会が稼働しており、独自の予算を確保し、広場の管理やマルシェの開催、景観形成等の活動を進めている。加えて、低地に約 1 ヘクタールのイチゴ栽培企業を誘致し、稼働している。

JSURP の復興支援は、地元の住民と住民が組織するまちづくり委員会の活動を主役とする地域主体のまちづくりとして組み立て、その活動を支援するというスタイルを貫いてきた。そうした活動がここにきてようやくそれが実を結びつつあると感じられる 3 日間であった (TF 内山征)。



■浦浜泊地区の低地に立地したイチゴ栽培施設

■おおたオープンファクトリー アンケートのお願い

JSURP が連携サポートしている大田区の「おおたオープンファクトリー」はコロナ禍のもと、WEB 上でのイベントに切り替えて活動を展開しています。

ウェブ上での町工場巡りを楽しみつつ「おおたオープンファクトリーのアンケート」にご協力ください。

<https://www.o-2.jp/mono/oof2020/>

■全まち 2020-2021 「石巻で震災 10 年を振り返る」

「全まち 2020-2021 連続セッション」の第 1 弾を 12 月 13 日 (日) に石巻市で開催、On-Line 配信します。

◆タイトル：石巻で震災 10 年を振り返る(仮称)

◆目的：自治体域の広さと被害の大きさゆえに多くの復興事業が進められた宮城県石巻市。それらが概ね完了を迎えようとする今、中心市街地の復興事業(特に再開発事業)の 10 年について振り返り、市内を中心にまちづくり活動をする担い手とともに、この先の 10 年を考える。

◆開催概要

日時:12 月 13 日(日)10:00～17:30

場所:石巻市中心市街地、IRORI 石巻：On-Line 配信

◆プログラム

①市内まち歩き

②トークセッション

②-1：中心市街地の復興事業を振り返る

②-2：ポスト復興をみる

◆配信、参加方法

当日会場よりライブ配信(無料)を行います。

参加方法などは詳細が決まり次第 HP、FB、メール等でご案内します。なお、コロナ禍の状況を勘案し、地元以外の現地参加は行わない方針です。

■2020 年度認定都市プランナー 審査結果

◆国土交通省登録資格への応募

国土交通省登録資格に応募できる要件を満たすため、4 団体の会員等以外でも、2 名の認定都市プランナーの推薦があれば認定・登録することができるよう要件を改定し、国土交通省登録資格に応募しました。

◆2020 年度の審査結果

2020 年度の認定都市プランナー審査は 4 月 1 日の募集開始以降、書類審査・口頭審査をへて 11 月 4 日の評価委員会で最終的な合否判定がなされた。

応募者は 92 人(認定都市プランナー)、40 人(准都市)。6 月 5 日に評価委員会にて書類審査を実施し、認定、准都市各 4 名が不合格者。認定准都市プランナーについては、8 月末に全員登録を完了した。

認定都市プランナーの口頭試問は 10 月 10 日～25 日の 4 日間実施し、その結果をもとに審査委員 2 名による審査評価委員会による合否判定が行われ 71 名が合格した。

■今月前半の予定

①12 月 1 日 (火) 全国まちづくり会議部会

②12 月 5 日 (土) 25 周年記念講演会・シンポジウム

③12 月 10 日 (木) J's カフェ in 北海道

④12 月 12 日 (土) 地域デザイン研究会まち歩き

⑤12 月 13 日 (日) 全まち石巻分科会

⑥12 月 17 日 (木) 第 184 回理事会